

次期学習指導要領

～ 「主体的・対話的・深い学び」の授業改善に向けて ～



伊是名村立伊是名小学校、本島北部の離島今帰仁村の連天港からフェリーに乗り約1時間の船旅で入港する。1学期に隣接する伊是名中学校で講話を依頼されたがその時も小学校の数名の先生方が参観されていた。文科省は「新学習指導要領の最大の目的は『授業改善』とする」とした。沖縄県でも小学校から高等学校



まで連携した授業改善に取り組むことを「学力向上推進プロジェクト」に示している。本日の伊是名小の取り組みが小中の連携の第一歩であることを確認しておきたい。左の写真職員室です。「あなたはどんな職員室だと教師の自分が安心しますか?」、「同僚性の構築の意義や目的は何ですか?」職員の共通理解とベクトルをそろえることは子ども達の不安を払拭することにつながります。一人ひとりの先生方の言うこと、やる事が違っては、子ども達は不安と疑念の中に立たされていることと同じです。今回の校内研を機会に校長先生を中心に未来に向けた伊是名小創りを応援します。右の写真、真剣に和やかに探究に向かう管理職の姿です。管理職の姿勢が職員を安心させてくれます。

[1年 算数 くらべかた] ひものながさをくらべる

元気な子ども達が一斉にひもを取り合う。やがて先生の指示で数名の仲間でひもをぴんと伸ばし、ひも尻をそろえてくらべる。1年生の授業は難しい!言葉が通じない!同じことを繰り返す!分かってくれない!静かにしてくれない!1年の担任を任された教師の嘆きをよく聞く。わたしからの提案は『きき合う』を大切に心がけてほしい。子ども同士の声の重なり、教師の声の重なりを無くし、みんなで一人ひとりの考えや思いを聴いてあげる『きき合う』。手本は教師の側から示さなければならない。「言って聞かせる。」指導ではなく



友達の発言の聴き方を促してほしい。「聴いてあげる」ことが発言者を支える唯一の手法なのです。ちゃんと聞いてくれる仲間に大声を上げる子はいません。元気なクラスとうるさいクラスの違いは何ですか? 「けじめがあるか?ないか?」です。頑張れ研究主任!



[2年 特別活動] 交流会のじゅんぴをしよう。

この教室の空気が抜群にいい!しっとり淡々と活動が遂行されていく、教師のテンションも低く、声も大きくない、子ども達が安心してゆったりと学び合っている。下の3枚の写真、交流会の役割ごとに分かれ、いろいろ確認しているところです。写真からも落ち着いてゆったりとしている雰囲気は伝わるのではないのでしょうか。対話の内容が「言い合う」のではなく「きき合う」になっているからしっとりとした素敵な空間になるのです。さて「言い合い」と「きき合う」の違いはなに?ぜひ校内研等で確認し、



みんなで取り組んでみてください。次に、右の写真からあなたは何を学びますか? この教室を伊是名小のモデルにし全職員で「主体的・対話的・深い学び」に挑戦してください。



[3年 国語] 定臨の教師 「教えられなかった私がある」

教室経営、掲示物を見ればまじめで一生涯懸命の教師であることが一目瞭然である。大学卒業して間もない自分の授業に不安や「これでいいのかな?」疑念が付きまとう。いま日本は教育改革の岐路にある。一斉授業からの脱却と、主体的な学びの方向へのシフトが教師達にゆだねられているしかし、「私は大学でアクティブラーニングを教えられていないし、私の経験値にもない。」教えられていないからやらなくてもいいのか?教えられていないから自ら学ばなければならないのか?



決めるのはあなた…。



[ 4年 音楽 ]

どの子ども終始楽しそうに歌ってました  
教師の言葉にもよく反応して、先生と子ども達の関係の良さがしみじみと伺えました  
どの教室にも個性を持った子が存在します。家庭や保護者の養育に影響を受けて困難を抱える子どももいたりします。大切なことは担任を中心に全職員でその子の個性に理解を示し一人残らずすべての子どもの学習



権の保障を目指すことです。困難を抱える子どもほど学校に「安心」をもとめて登校してくるものです。「明るく楽しい学級」だけが素晴らしいのではありません。静かで安心できる教室。すべての子ども達が安心して過ごせる「居場所」としての教室を準備することが教師の使命でもあります。

[ 5年 英語活動 ]

いよいよ、新学習指導要領では教科として指導していかなければならない。何がこれまでと違うの？校内研等でしっかりみんなが理解しなくてはならない。伊是名の子も達だけが取り残されることが許されてはいけない。教師も子ども達と一緒に未来に向かうことが大切である。これまでの経験値と勘に終止符を打ち子ども達の未来を保障することが教師の使命となる。



英語の学習はALTとの呼吸が鍵になる。時々ALTに任せっきりの授業を拝見するが、授業はあくまで担任主導で運営されなければならない。ALTはあくまで授業で活用されるアイテムのひとつであると認識したい。右の写真の中に2つの壁があります。一つは教師が監視役になっている様子です。できれば一緒に和の中にはいり、一緒に楽しく学ぶ姿勢があると子ども達ももっと楽しくなるのではと考えます。さて、もう一つの壁はなんでしょう…見つけてください。



[ 6年 理科 ]

素敵な授業者である。わたしが撮影した授業ビデオを観て謙虚に自分の姿を振り返っていた。笑顔で授業を振り返る余裕が大切である。中堅のミドルリーダー的立ち位置にある教師、しかし、新学習指導要領で提唱される主体的学び、対話的学び、深い学びの実現に向けては大学新卒の先生と同じである。「わたしも学ばなければならない」立場になる。



これまでの先生の経験を否定するものではない、新しい時代、未来の子ども達のための教育のパラダイムシフトである。



「学校で学ぶ」とはどういうことなのか？少なくともこれからは、教師が黒板にチョークで書いたことを覚えるというスタイルが「学校で学ぶ」ということではない。  
(2014.4月 文部科学省初等中等教育局長：前川喜平)  
この言葉の意義と目的を・・・。

[校内研修理論研・モデル授業]



主体的学び・対話的学び・深い学び。いったい「学び」って何ですか？  
※『学び』とは…自己の変容と成長である（佐藤学）  
左の写真の先生たち学んでいますか？じつは、解決に向かってすっかり夢中になって脳をアクティブに働かせ思考しているところです。  
私もいくつかの学校で先生方を相手に何度かモデル授業をしてきましたが校長先生をはじめ先生方がこんなに夢中になって学んでいる姿は久しぶりです。何よりもよかったのが、みんなでビデオでも確認しましたが、先生方の対話による学びが実に自然で違和感なく行われていたことです。  
「分かる喜び」を実感した教師。教えたい教師。自分でやりとげたい教

師。素直に「分からない」を訊き合う教師。教えて分かってもらえることに喜びを感じた教師。どの教師にも共通しているのは、対話は笑顔であったことです。（私が安心しました。）  
「聞かされて、書かされて、覚えさせられて、試されて。…」これまでから、これからに向かっていける教師集団を目指していきましょう。  
素敵な一日をありがとう。感謝！

